

事務事業名		老人クラブ育成補助金交付事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画登録事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略登録事業					
政策体系	政策名	0 2 安心が確保されたまちづくりの推進		事業期間		予算科目					
	施策名	1 2 高齢者支援の充実				<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 年度～)	会計	款	項	目	事業
	基本事業名	0 1 社会参加と生きがいづくりの推進					01	03	01	03	16
根拠法令	老人福祉法、老人クラブ活動等社会活動促進事業補助金交付要綱		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		事務事業区分						
所属	部課名	保健福祉部長寿社会課		A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(A～D以外)							
	課長名	佐々木 義和									
	係名	高齢者福祉係	電話						26-2943		
	担当者	大津 泉	内線						直通		
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)							
高齢者の地域づくりや社会参加を図り、高齢者が健康で生きがいを持って暮らすことができるようにするため、老人クラブ連合会と単位老人クラブが会員向けに行う事業に要する経費に対し、補助金を交付する。				総投入量 (千円)	事業費	財源内訳	国庫支出金				
							都道府県支出金				
							地方債				
							その他				
							一般財源				
							事業費計(A)	0			
					人件費	正規職員従事人数					
						延べ業務時間					
						人件費計(B)	0				
						トータルコスト(A)+(B)	0				

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
各単位老人クラブ及び老人クラブ連合会からの補助金交付申請を精査し、補助金を算定して交付する。また、事業完了後、実績報告に基づき適合審査を行う。		ア	補助金交付額
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	
前年度と同じ。		ウ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
各単位老人クラブ、老人クラブ連合会		名称	
		単位	
		カ	会員数
		キ	
		ク	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
高齢者の生きがいと健康づくりの活動により、生活を健全で豊かなものにする。		名称	
		単位	
		サ	老人クラブ加入率
		シ	
		ス	
④ 結果(基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
生きがいを持って暮らせる。			

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(実績)	2年度(実績)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円	1,363	1,233	1,234	1,168	1,167	948
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	1,598	1,548	1,490	1,614	1,501	1,502
	事業費計(A)		千円	2,961	2,781	2,724	2,782	2,668	2,450
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	20	20	20	20	20	20
		人件費計(B)	千円	80	80	80	80	80	80
		トータルコスト(A)+(B)		千円	3,041	2,861	2,861	2,862	2,748
⑤ 活動指標		千円	2,961	2,781	2,724	2,782	2,668	2,450	
⑥ 対象指標	カ	人	1,388	1,393	1,283	1,242	1,173	1,191	
	キ								
	ク								
⑦ 成果指標	サ	%	8.6	8.7	8.0	7.8	7.4	7.6	
	シ								
	ス								

事務事業ID	0203	事務事業名	老人クラブ育成補助金交付事業
--------	------	-------	----------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
昭和61年厚生省通知により事業を開始した。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
「個」の重視・価値観の多様化等の変化により、老人クラブ加入者数は減少傾向にあり、これは全国的な傾向である。国における老人クラブ関係予算について、平成12年度に奨励補助金から介護保険制度の健全な発展に資する制度的補助金として位置付けられ、老人クラブ活動が要介護・要支援状態になることの予防策になることが期待されているところではあるが、国及び県の補助基準は毎年僅かながら下がっている。
なお、機構改革により、平成27年4月1日から担当課の課名が保健介護センターから長寿社会課に改められた。(平成23年度までは保健福祉課)

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
老人クラブは地域に根ざした団体であることから、その財源は会費や公的補助のほか、地区公民館や部落会の援助によるところも多い。しかし、中には財源確保が困難なクラブもあり、そのようなところから補助金増額の要望がある。また、老人クラブの運営について、人的援助の要望もある。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】	当事業の目的である高齢者の生きがいの向上、健康づくり、それら事業を通して社会参加を促進することは市の政策体系に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】	国県補助対象事業であること、また、介護保険制度が導入され、当該事業が介護予防的役割を担うべきものとされていることから継続して実施していく必要があり、その支援は行政が行うべきである。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】	老人クラブ連合会では加入促進事業を実施しており、相応の効果を上げているものの、年々加入者数は減少している状況にある。本事業に係る支援を引き続き推進していく必要がある。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】	老人クラブ加入促進事業を引き続き行いながら、各老人クラブにおいて事業の見直しを検討する余地はある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】	自主財源を確保できないクラブが相当数出てくると予想される。その解決策の一つとしては単位老人クラブの統合が挙げられる。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	現在の単位老人クラブの補助額は国県補助基準どおりとしているところであり、事業費を削減することは困難である。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	必要最低限の人員で対応している。既に補助金交付方法について見直しを行い、単位老人クラブ分を含め連合会が一括申請する等、事務の簡素化を実施済みである。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】	老人クラブ連合会の会費は一人当たり400円の定額であるが、単位老人クラブの会費はそれぞれで設定されている。しかしながら、会費徴収を行っていない単位老人クラブは一つもなく、相応の負担はなされている。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果																					
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) → ③ 終了・廃止・休止	左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 単位老人クラブ及び老人クラブ連合会はそれぞれ独立した団体であり、その活動内容も多種多様なものであるため、一律の指導は困難であると考え、補助金を交付する側として、単位老人クラブの統括的役割を担う老人クラブ連合会を通し、個別に単位老人クラブに改善を示唆していく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	補助金の支出等円滑な事務執行がなされている。高齢者が自ら運営する組織として、生きがい創出に必要であり、今後も支援を継続する。